

名詞を場所化する “～中” — “～里” との比較から

保 坂 律 子

On the Directional Noun “～zhong (中)” in Modern Chinese

Ritsuko HOSAKA

在上一篇论文中我针对表示场所的「名词+方位词“上”」进行了考察。在那篇论文中我们指出了被“～上”与“～里”场所化的名词分别表示「二维、或意识中的二维场所」、「三维、或意识中的三维场所」这样一个基本规则。但是,在那篇论文中我没有谈到与“～里”持类似用法的方位词“～中”。方位词“～中”在教学中很少被单独提出来讲,所以一般被认为与日语的「中」相同,或机械地被译为「…の中,中」。《现代汉语八百词》中也解释为“‘中’表示<在某个范围中>时与‘里’相同”。

如果按照这个解释,除了“里”表示口语这一点不同外,在表示场所、时间、范围时“里”与“中”所表示的意思应该是一样的。但是,有很多不符合这个解释的例子。

这篇论文的目的主要是比较“～里”与「名词+方位词“～中”」,必要时加上“～上”,并对它们的异同进行考察。

0. はじめに

1. “～中”は三次元か?

1. 1. 場所
1. 2. 時間
1. 3. “～中”は「点」

2. “～里”と“～中”の相違点

2. 1. 一般名詞
2. 2. 乗り物
2. 3. 姿を映すもの
2. 4. 身体部位名詞
 2. 4. 1. “肚子”
 2. 4. 2. “嘴”
 2. 4. 3. “心”
 2. 4. 4. “手”

3. 結び

0. はじめに

さきに保坂・郭2000では名詞を場所化する方位詞“～上”,“～里”について考察した。そこでは“～上”,“～里”によって場所化される名詞はそれぞれ二次元と意識される場所,「三次元と意識される場所」を表すことを基本ルールとして示したが,“～里”と類似のはたらきを有する方位詞“～中”に

については言及していない。日本語では多くの場合「…の中, …中」と訳出される方位詞“～中”だが、従来教学の場ではあまり取り上げられていないように思う。そのため、日本語の「中(なか)」と同じ、あるいは機械的に「…の中, …中」と日本語訳を与え、それでよしとしていたのではあるまいか。次の《現代汉语八百詞》での解釈もそれを裏付けるものである。

“中”〔方位〕在一定界限以内；里。不能单用。

1. 名+中。多用于书面，口语用‘里’。

a) 指处所。家中无人 | 跳入水中 | 森林中一片静寂

b) 指时间。假期中 | 这两年中，我只写了三篇文章

c) 指范围。计划中没有这个项目 | 言谈中流露出不安的情绪

d) 指情况，状态。多用在介词 在，从 等后。

“里”〔方位〕在一定界限以内

2. 名+里。

a) 指处所。城里 | 树林里 | 房间里

b) 指时间。夜里 | 假期里 | 上个月里

c) 指范围。话里有话

d) 跟表示机构的单音节名词组合，既可指该机构，由可指该机构所在的处所：

これらに従うなら、場所、時間、範囲を表す場合“中”と“里”は、同一の意味を表すことになる。

しかし、場所を表す場合でありながら、次の1)では“～里”で場所化したaは成り立たず、b“～中”のみが成立する。

1) a *飞机在空里飞行 (飛行機が空を飛ぶ)

b 飞机在空中飞行

また時間を表す場合も、2)では“～里”で場所化したaのみ成立し、“～中”で場所化したbは成り立たない。

2) a 假期里我在上海来着 (休暇中，私は上海にいた)

b * 假期中我在上海来着

これらの事実から必ずしも“～中”＝“～里”ではないことが容易に理解される。では、両者の差異はどこにあり、“～中”の機能をどう解釈したらよいのだろうか。本稿は“～里”との対象から、また必要に応じて“～上”と比較しつつ、方位詞“～中”の表すものについて考察する。さらに本稿では“～里”が時間を表す場合の働きにも検討を加え、“～中”との差異を明らかにする。なお、本稿の考察の対象とするのは上記《現代汉语八百詞》で網をかけた部分に相当する。

1. “～中”は三次元か？

ここではまず「三次元を表す」「～里」と比較し、“～中”の基本ルールを考えてみたい。

1. 1 場所を表す場合

先の論文で提出した“～里”の基本ルールは「三次元と意識される場所」というものであるから「中」は「里」である」という《現代汉语八百詞》の説明に従うなら、“～中”もまた「三次元と意識される場所」を表す機能を有するはずである。まず、この機能の有無を確認する。

最初に定まった形で、閉じた空間を持つ名詞の場合を見てみたい。

3) a 柜子里 (戸棚の中)

b 柜子中 (戸棚の中)

3) では“～里”、“～中”で場所化されたa, bともに(戸棚の中)を表し、いずれも成立する。

《現代漢語八百詞》のいう「ある範囲の中である」も「三次元と意識される場所」のどちらもあてはまり、違いはないように思われる。しかし3)がさらに3)'になるとニュアンスの違いが表れてくる。

3) a 柜子里有一件黑毛衣 (戸棚の中には黒いセーターが一枚ある)

b' 柜子中有一件黑毛衣 (戸棚の中には黒いセーターが一枚ある)

1)'では、a, bともに戸棚の中にセーターがあることは同じである。しかしaでは「戸棚の中には何枚かのセーターがある。そのなかには黒いセーターも一枚ある」というニュアンスが感じられる。これは“～里”が表すのは「三次元と意識される場所」であったからb'“柜子里”とすればある程度の空間が想起されることに起因する。一方bでは、一枚の黒いセーターが「戸棚の中」にあることを描写するだけで、そのスペースは含意されない。つまり、ここで“柜子中”によって示されるのは“柜子”の内部、セーターがあるという「点」のみで、その大きさは意識されてはいない¹⁾。

ところで、同じ三次元と意識される場所であっても空間を持たないものもある。次の4)の例である。

4) ? a 玻璃里嵌着一只蝴蝶 (ガラスの中に蝶が一匹はめ込まれている)

b 玻璃中嵌着一只蝴蝶 (ガラス (の中) に蝶が一匹はめ込まれている)

4)' a 那块玻璃里嵌着一只蝴蝶 (あのガラスの中に蝶が一匹はめ込まれている)

a' 玻璃球里嵌着一只蝴蝶 (ビー球の中に蝶が一匹はめ込まれている)

4) は、装飾品などでガラスそのものの中に蝶が埋め込まれているというような場合である。このとき“～里”で場所化された4) a “玻璃里”は不自然だと感じられ、4) b “玻璃中”とするのが自然である。ところが4) a の場合でも4)'aのように“那块”を加え限定すれば成立する。あるいは4)'a'のように“玻璃”を“玻璃球”(ビー球)とすれば“～里”で場所化しても成立する。一方4) b “玻璃中”は、ガラスの大小や形状とは無関係に成立する。4)aが不自然な理由は“～里”で場所化された“玻璃里”では大きなガラス全体の中に、小さな蝶一匹であることの不自然さが指摘される。そう考えれば4)'aのように“那块玻璃里”(あのガラス)と大きさが限定された場合、また4)'a'のように“玻璃球”(ビー球)のように小さなものである場合には、当該名詞の大きさに対する、蝶一匹の不自然さは排除され成立すると説明がつく。一方4) b “玻璃中”が成立するのは“～中”による名詞化には当該名詞自体の大きさが関与的でないからである。ここでも“～中”は「当該名詞内部にある」点を示すと考えると、大きさは問題にされない、したがって大きなガラスでも小さなビー球でもその中の任意の点を“～中”で示すことができる。以上から“～中”は「当該名詞内部の点」で大きさを持たない、とすれば先にあげた1) a が成立しないことも合点がいく。

1) a *飞机在空里飞行 (飛行機が空を飛ぶ)

b 飞机在空中飞行 (飛行機が空を飛ぶ)

「空」には高さが感じられ、二次元とは意識しにくい。しかし、その境界はあいまいで、三次元としての形状は意識し難く、そのため“～里”では場所化できない。一方“～中”が「当該名詞内部にある」マーカーとすれば、“空中”は空の任意の“点”をさし、そのため飛行機や鳥、あるいは気球が飛ぶ空は、大空の中でありさえすればよく、空は“～中”で場所化されていると理解できる。

1. 2. 時間

次に“～里”、“～中”が時間を表す場合について考察する。次の5)で見たい。5) 単独ではa, bともに「休暇中、休暇の間」と訳出され、《現代漢語八百詞》の記述どおり“～中”は“～里”と同じであるようにみえる。

5) a 假期里 (休暇中)

b 假期中 (休暇中)

しかし、5)'とすると、両者のニュアンスの違いが顕著に表れる。

5) a 假期里我写了一篇论文 (休暇中に私は論文を一本書いた)

b 假期中我写了一篇论文 (休暇中に私は論文を一本書いた)

5) a は「休暇をまるまる使って論文を一本書いた」、というニュアンスが感じられる。「假期里」は休暇の始めから終わりまでの全体、「まるまる」である。この名詞句「假期里」が表すものは「时段」(時間)、つまり始めと終わりのある「一区切り」の時間である。一方、5) b「假期中」は休暇中のある「時点」(時点)を示している。「假期」には無数の「時点」が連続し、存在している。したがって、論文を書いた時点についてもやはりいくつもの可能性があり、bはそのいくつもの可能性のひとつである「休暇中のどこかの時点で」論文を一本書いた、のである。休暇全体を使って論文を書いたaとは明らかに文意が異なる。以上5) 'から「～里」で場所化される時間は「时段」、また「～中」で場所化される時間は「時点」である、とすれば、先の2)でbが成立しないことの説明がつく。

2) a 假期里我在上海来着 (休暇中 (のあいだ)、私は上海にいた)

b * 假期中我在上海来着

「来着」(～していた)は過去の出来事を回想するニュアンスを表す助詞である。2)では「在上海来着」(上海にいた)という表現から、休暇の「时段」(時間)を上海で過ごしたことが想起される。ここでは「～中」は使えず、「～里」のみで成立する。「～中」で場所化された名詞句は時間の長さ「时段」(時間)を表すことができないからである。

1. 3. 「～中」は「点」

以上(1)～(5)から、「～中」は「三次元と意識される場所」があてはまらないことが見て取れよう。「～中」が場所を表す場合は「当該名詞内にある」というのマーカーとしてはたつき、時間を表す場合は「時点」を表すことが分かる。この「時点」もやはりある時間の中にあり、「当該名詞内にある」任意の(時)点である。これに対し「～里」は時間においては「始めと終わりがある、一区切りの幅のある時間」の「时段」である。

一般に空間から時間への転義は、日常言語の概念領域に行き渡っている。たとえば「長い間」、「短い時間」などがそれである。場所や空間の概念領域が時間の概念領域に拡張され、拡張された場所・空間の一地点として、時間の相対的な位置付けがなされている。「～里」の「三次元と意識される場所」すなわち空間は、「时段」という時間への転義がなされ、「～中」の基本ルールを「点」とすれば、場所を表す「当該名詞内にある」任意の点は時間を表す「時点」へと拡張され使用されていることが理解される。

2. 「～里」と「～中」の相違点

前章では「～里」に対する「～中」の基本ルールを提出した。これに基づいて、ここでは「～里」と「～中」の場所化の相違点について考察する。

2. 1 一般名詞の場所化

先の3)「柜子」(戸棚)や4)「玻璃」(ガラス)のように場所性をもたない一般名詞が「～里」、「～中」で場所化された場合、「三次元と意識される場所」、「当該名詞内にある」任意の点を表す。これは、保坂・郭 2000 で「～上」の基本ルールを「二次元と意識される場所」としたことを視野に入れるなら、それぞれ「～上」=「面」、「～里」=「空間」、「～中」=「点」と概念化することができる。

6) a 柜子上(戸棚の上) = 「面」

b 柜子里(戸棚の中) = 「空間」

c 柜子中(戸棚の中) = 「点」

7) a 玻璃上(ガラスの表面上) = 「面」

b 玻璃里(ガラスの中) = 「空間」

c 玻璃中(ガラスそのものの中) = 「点」

ところで一般名詞には、建物のドアや窓、門や壁など、本来、建物や部屋などの中と外を隔てる役目を表すものがある。ドアにしる窓にしるそれら自体は、実際には三次元の形状を有するが、当該名詞は内側と外側を分ける境界として機能するため、場所化には“外”(そと)に対する“里”(なか)を用い、境界の内か外かを示す。したがって「当該名詞内にある」任意の「点」をあらわす“～中”で場所化されることはない。5)で“～中”で場所化したa'は表門そのものの材料の中(たとえば木や石などの中)に座っていることになり、特殊な文脈でない限り成立し得ない。

8) a 她坐在大门里(彼女は表門の中に座っている)

a'*她坐在大门中(彼女は表門の中に座っている)

2. 2 乗り物の場所化

ここでは乗り物の場所化について考えてみる。一般に“车上”と言え、乗り物として動いている車の中を表し、“车里”²⁾と言え、単なる場所として、乗り物としての機能に関心がはらわれていない「車の中」である。しかし単に“車中”と言った場合、ネイティブがまず思い浮かべるのは「(いろいろある)車の中では～」というある範囲内を示すものである。

9) 车中我想要买的是奔驰(車の中で私が買いたいのはベンツだ)

9) “车中”「車の中では～」における“～中”の機能は、車というワクにくくられる範囲を提示し、そのワクの「中」にはいる任意の車種を表すという機能において“～中”の“点”を表す機能の拡張された用法であると理解できる。

次の10)～12)はいずれも“～里”で場所化された例だが、これらを“～中”で場所化した場合の成立状況は同じではない。10)は停車している車である。このとき“车里”を“～中”で場所化することはできない。

10) 在楼区花园四处寻找,每棵树后,每辆车里(*中)都找了个遍,无人迹。(ビル街の庭園のいたるところを探し、すべての樹林のかげ、すべての車の中をもすっかり探したが、人跡はなかった)

10)は「車の中」が、空間として探す場所であるため、三次元の場所のマーカーである“～里”でのみ成立する。一方、次の11)では2つの“车厢里”はいずれも動いている地下鉄の中だが“车厢”(車両)は乗り物内のある場所を表す一般名詞であって、「車」や「電車」、「バス」などのような乗り物の総称ではない。しかし“车厢中”は成立しない。これは第一の“灯火通明的铁车厢里”「あかあかと灯りがついた地下鉄の中」は明らかに空間を表すもので“车厢中”とすると“～中”の「点」の機能と矛盾する。また第二の“车厢里(*中)都是欢度完…”の“车厢”を“车厢中”とするとその後の“都是”(みんな～である)がやはり“～中”の「点」の機能と矛盾するからである。

11) 在灯火通明的地铁车厢里(*中),她靠着我的肩头睡着了。车厢里(*中)都是欢度完周一起回家的恋人,一对一对依偎着喁喁私语。(あかあかと灯りがついた地下鉄の中で、彼女は私の肩にもたれて眠った。車両の中はみな一週間を楽しく過ごし一緒に家に帰る恋人たちで、寄り添ってささやきあっていた)

一方、12)の“车里”が“车中”としても成立するのは12)が“钻进车里坐定后”(車の中にもぐり込んでしかと腰をおろすと)から理解されるように、ここでの“～里”は「空間」としてのマーカーのみならず、外から「内」のマーカーとしても機能している。そのため、当該名詞内の任意の「点」と意味的に矛盾しないからである。

12) 当我钻进车里(中)坐定后,司机刚要开车,她离开贾玲一个人跑上来,

13) も12)同様で、“车中”を“车里”としても成立する。車の中から外へ頭を出す、「内」、「外」

の対立が存在する場面で、外を示すため用いられている。

- 1 3) 钱康在倒行的车中(里)摇下玻璃窗探头出来喊:“海,你们在这儿干嘛呢?(钱康は逆行している車の中でガラス窓を下げ、頭を出し外の様子を見てどなった:「おい、おまえらそこで何しているんだ?」)

一方、次の1 4)～1 6)で“～上”で場所化された乗り物の共通点として、いずれも“～中”で場所化することができ、移動中の乗り物内であることを表す点をあげることができる。

- 1 4) 车上(中)有张男人的胖脸在嘲弄印家厚。(バスの車内の肉付きのよい顔の男が印家厚をせせら笑った)

- 1 5) 这是多少人向往的长江之晨,船上(中)的人们却熟视无睹。(これは多くの人が憧れる揚子江の朝だが、船内の人たちは見れども見えずといった様子だった)

- 1 6) 我挤出人群,下了车,朝车上(中)的赵蕾招招手转身向另一个车站走去。(私は人ごみを押しのけ、バスから降り、車内の趙蕾に手を振ると、くるっと振り返って別の停留所へ歩いていった)

2. 3. 姿を映すもの

家電製品としてのそれではなく、映像や、人や物などの姿を映す場所としての“电视”(テレビ)、“电影”(映画)、“镜子”(鏡)の場所化については複雑である。保坂・郭2000では「“电视”の場合、テレビの画面に映っているものを見ての発話なら、場所化には“～上”、“～里”どちらも使える」と述べ、例として次の1 7) a, bをあげた。

- 1 7) a 我在电视上看见她了。(私はテレビで彼女を見た)

- b 我在电视里看见她了。(私はテレビで彼女を見た)

- b' 我在电视中看见她了。(私はテレビで彼女を見た)

その際1 7) a ではテレビの画面に映っている彼女を見たという意味だが、b “电视里”ではテレビの画面に映っている彼女を見たとも、テレビの番組(内)に出演している彼女を見たという意味にもなるのだと説明したが、bをb' “电视中”としても意味は変わらない。しかし、同じテレビを見ての発話でも次の1 8)でa “电视上”をb “电视里”、b' “电视中”とすると成立しない。

- 1 8) a 电视上看着挺漂亮,底下一看实在一般,脸上还有色斑。(テレビで見たらとても美人だったが、あとで見ると実はごくふつうで、顔にはしみまであった)

- *b 电视里看着挺漂亮,底下一看实在一般,脸上还有色斑。

- *b' 电视中看着挺漂亮,底下一看实在一般,脸上还有色斑。

1 8) が1 7) と異なるのは、テレビでの映りを話題にしている点である。1 7) b では、テレビの番組を話題にしている可能性も十分あるが、1 8) b にはそれがない。このことから、テレビの画面上を話題にするときは“～上”だけが用いられることが分かる。よって“～里”を用いた1 7) b はテレビの画面に映っている彼女を見たという解釈はできない。テレビの画面に映っていると意識されるなら“～上”を使っただけの発話が自然である。次の1 9) a は“电影”(映画)の例である。ここでも“～上”、“～中”で場所化したb, b' 何れも成立し、それぞれ映画のスクリーンに映ったカップル、ストーリー中のカップルとの理解が成り立つ。

- 1 9) a 我们仍然那么年轻,那么般配,像电影里的美满情侣。(私たちは相変わらず若く、似合いのカップルで、まるで映画の中の幸せで円満な恋人同志のようだった)

- b 我们仍然那么年轻,那么般配,像电影上的美满情侣。

- b' 我们仍然那么年轻,那么般配,像电影中的美满情侣。

2 0) も同様である。

- 2 0) a 那都是跟外国电影里学的,你怎么喜欢这套?令人作呕。(それはみんな外国映画から学んだも

のだ、君はどうしてそんなやり方が好きなのだ？吐き気がするよ。）

b 那都是跟外国电影上学的,你怎么喜欢这套?令人作呕。

b' 那都是跟外国电影中学的,你怎么喜欢这套?令人作呕。

ここでも b はスクリーン上の映画から学んだという意味であるのに対し, “～里” で場所化した a, “～中” で場所化した b' はストーリーの中から学んだという意味を表す。

鏡の場合はどうであろうか? 2 1) は “～里” で場所化された a を “～中” で場所化した b' は成立するが “～上” で場所化した b では成立しない。鏡に映っていても, それは鏡の表面上に “我” (私) がいるのではないからだろう。

2 1) a “你的肚子和外国肚子有个区别。”她在后面边弹琴边瞧着镜子里的我说。(「あなたのお腹と外国人のお腹は違うわ」彼女は背後でピアノを弾きながら, 鏡の中の私を見ながら言った。)

b * “你的肚子和外国肚子有个区别。”她在后面边弹琴边瞧着镜子上的我说。

b' “你的肚子和外国肚子有个区别。”她在后面边弹琴边瞧着镜子中的我说。

逆に 2 2) のようにモノとしての鏡の表面であれば “～上” でのみ場所化し, “～里”, “～中” で場所化することはできない。

2 2) a 他伸出一只食指来在镜子上抹了一抹,便向厨房里走来。(彼は人差し指を伸ばして鏡をさっとこすると, すぐにキッチンへやって来た)

b* 他伸出一只食指来在镜子里抹了一抹,便向厨房里走来。

b' 他伸出一只食指来在镜子中抹了一抹,便向厨房里走来。

ところで, 先の時間や場所では明らかな違いが指摘されているが, 1 9), 2 0), 2 1) では “～中” で場所化した b' と “～里” で場所化した a にニュアンスの違いを感じないと言うネイティブが多い。明らかに “～上” の場所化とは一線を画しながら, “～里”, “～中” の間には差を感じないなら, その理由はどこに求めればよいのだろうか。

仮に “～里”, “～中” で場所化された姿を映すものに違いがないのなら, その理由の一つにあげることができるのは, これらの場合には “～里”, “～中” がいずれも外に対する「内」を表す機能としてはたらいっているという考え方であろう。しかし一方で, テレビに奥行きを感じ, テレビや映画の中に三次元の世界を強く感じるのだとしたら, “～里” では空間が “～中” には当該名詞の「中」にあるという点が, どこかで効いている傍証であるという説明も成立の可能性があろう。

2. 4 身体部位名詞

ここでは身体部位名詞について考察する。身体部位名詞も基本的には一般名詞と同様, 二次元の場所と意識されれば “～上”, 三次元の場所と意識されれば “～里” を用いる。

2. 4. 1. “肚子” (腹, おなか)

「おなか」はその外側であれば, 体の表面, 外から手で触れる「おなか」を指す。このとき “～上” で “肚子上” と場所化され, “～里”, “～中” では場所化できない。2 3) は体表である「おなか」を刺したのである。ここでは場所化には “～上” しか使えない。

2 3) 五民脑袋一低, 扎在张大民肚子上(*里/*中)就失声了。(五民は頭を下げ張大民の腹を刺すと思わず声を発した)

一方, 次の 2 4) では “肚子” は体の内部, 外からは見えない「おなかの中」である。それも「外」に対する「中」でなく, 食べたものをおさめる「はら」, すなわち三次元の場所と意識されている。ここでは “～上” だけでなく「点」を表す “～中” でも場所化できない。

2 4) 刘苏的房子是空的, 心里是空的, 家里没有置办米粮, 因此肚子里(*上/*中)也是空的。

(劉蘇の部屋には何もなかった, 心の中も空っぽだし, 家には米を買い置いていないから,

腹のなかも空っぽだった.)

25) は比喻としての「おなか」であるが、ここでもやはり言葉がみな入るだけの空間をもった三次元の場所としての解釈である。したがって24)と同様“～上”，“～中”では場所化できない。

25) 她这一笑坏了,我一下脸红了,肚子里(*上/*中)背好的词儿也都全忘了(彼女がいやというほど笑ったので、私は顔が真っ赤になって、お腹のなかで暗記した言葉もみんなすっかり忘れてしまった)

2. 4. 2. “嘴” (口)

口はおなかと同様、実際にココと分かる器官である。また、言語を発する「口」、意思表示をする機能として、拡張された意味でも多く用いられる。26) は器官としての口そのものである。

26) 她嘴里(中/*上)含着饭,犹豫着不知夹哪个菜。(彼女は口のなかにご飯を入れたまま、どのおかずを取ったらよいだろうと迷っていた)

このとき、“～上”を用いることはできない。物を食べる器官としての口は三次元の場所と理解するのが自然である。また口いっぱいにご飯を含んでいても外に対する「内」が意識され、“～中”で場所化可能なのであろう。ところが、ものを食べる器官としてではなく、話をする器官とみなすときは、“～里”または“～上”が用いられ、“～中”で場所化することができない。27)、28) がその例である。

27) 老太太不急不恼,嘴里(*中/上)寒暄着,顺从地离去(おばあさんは慌てず、おこらず時候の挨拶をしながら、おとなしく離れていった)

28) 比如,她希望老公陪她外出,嘴里(*中/上)会说:“呆在屋里闷死了。(たとえば、彼女が夫に自分をどこかに連れて行ってほしい時にはこう言うだろう:「家でぼうっとしていると退屈で死にそうだよ」)

声を出し、話をする器官として、口が三次元の場所あるいは、二次元の場所と理解されるのかは、人にも、場合にもよる。しかし、いずれの場合にも共通するのは決して点とはみなされないことで、換言するなら、ここでは外に対する「内」とは意識されない点をあげることができる。これらと逆に、次の29)は“～中”でのみ場所化が可能な例である。29)は“鲜花烂漫”という表現が書き言葉であることにより“～里”，“～上”では著しく文体の統一を欠くという理由で、“～中”が用いられている。文法的機能でなく、文体上の制限が働いている例である。

29) 这目光堵住了我嘴中(*里/*上)鲜花烂漫的童音。(その視線が私の咲き乱れる美しい花のような愛らしい声をさえぎった)

2. 4. 3. “心” (心)

身体部位名詞としては、心は特殊である。実際には、具体的に体のどこにどんな形で存在するのか一定せず、判断する主体にゆだねらるものだからである。“心”の場所化について先に保坂・郭2000で、心を「思考する、考える、感情をつかさどる」器官とみなすなら“～里”で場所化され、器官としての意味から離れて「心に留める」、「心の片すみ」のように単なる場所とみなすなら“～上”で場所化することを示した。ここでは“～中”での心の場所化を考察する。次の30)～32)はいずれも“～里”で場所化された例である。これはすべて“～中”で場所化しても成立し、意味は変わらない。30)、31)は「心臓」がドキドキすることも意味するが、同時にまた思考する「心」がドキドキすることをも表現し得る。32)では思考する「心」である。

30) 他向客室里走,心里(中)继续怦怦跳,有一种奇异的命里注定的感觉。(彼は客室へ向かいながら、心臓がドキドキし、不思議な運命に定められているような感じがした。)

31) 我气得脸都白了,心里(中)一阵阵悸痛,别人说这话犹可,你也说这种话。(私は怒りのあまり顔が

真っ青になり、ドキドキして…)

32) 我在向米兰家走去时,心里(中)充满对她的厌恶。(私はミーランの家に足を運ぶとき、心の中は彼女に対する嫌悪感でいっぱいだった)

これらと逆に33)～35)は“～中”で場所化された例だが、いずれも“～里”で場所化しても成立し、意味は変わらない。

33) 马林生站在两扇门紧紧关着的房间里,心中(里)一阵阵羞愧和恼火。(馬林生は両のドアがしっかりと閉じられた部屋の中に立って、心はしばらく気恥ずかしさと怒りでいっぱいだった)

34) 我虽然没开口唱,但心中(里)洋溢着激情,萦回着那一首首歌曲的旋律,如同放声歌唱一样(私は口をあけて歌いはしなかったが、心は激情に満ち溢れて、あの歌のメロディーがこびりついていて、それはまるで声を出して歌っているようなものだった)

35) 晚上入睡前,我想起那个出租汽车司机的话,不决心中(里)暗惊。(夜、眠りにつく前、私はあのタクシーの運転手の話を思い出し、)

30)～35)に共通するものとして、いずれも“心”を思考する器官としてとらえることが可能である点が挙げられる。これは逆の見方をするなら“中”で場所化される“心”は空間、スペースを必要としないということである。しかし次の36)だけは“～里”で場所化すると不自然である。その理由として29)と同様に“双目炯炯”(両の目が炯炯としている)という典型的書き言葉と口語の“里”という文体の不一致があげられる。

36) 高晋也很镇定,惟一可以看出他心中(*里)不平静的就是他双目炯炯。(高晋も落ち着き払っていたが、彼の心の高ぶりは唯一両目がきらきら輝いていることから見て取れた。)

2. 4. 4 “手”

手を物理的な二次元の場所ととらえる場合、“～上”でしか場所化できない。37)は忘れないように手のひらに電話番号を書く、という場面である。38)も手に石鹸の泡をつけて私に靴下の所在を尋ねる場面であるが、いずれも開いた手のひらであり、“～里”、“～中”では場所化できない。

37) 她张着手掌对我说:“就写在我手上(*里/*中)吧。”(彼女は手のひらを広げて私に言った:“じゃ私の手のひらに書くわ”).

38) 胡亦手上(*里/*中)沾着肥皂沫问我:“我的一只袜子…?”(胡亦是手に石鹸の泡をつけて私に尋ねた:“私の靴下は?”)

手の場所化では、物理的な三次元の場所を表すのは手を握った状態である。このとき三次元ととらえられる一方で、握った手の「内」を問題にすると解釈も成立する。その場合には“～里”を“～中”で場所化可能となる。

39) 她手里(中)挥动着几张揉皱的材料纸,(彼女の手には何枚かのくしゃくしゃになったデータが振られていた。)

40) 我把手里(中)这支给他,又点上一支,全神贯注地吐烟圈。(私は手の中のこの一本を彼にやり、また一本に火を着け、注意力を集中してタバコの煙の輪を吐いた)

また次の41)、42)のように“手”が抽象的な意味で場所化される場合、“～上”、“～里”、“～中”いずれでも場所化することができ、自分の力の及ぶ範囲である「手の中」、「手の上」を表し、いずれの場合も意味的に大きな差異は生じない。

41) 我爹死在我手里(中/上)了,我娘和家珍、还有凤霞都要跟着我受活罪。(父は私のせいで死に、母と妻の家珍、それに娘の鳳霞は私と一緒に苦難を受けることになった)

42) 再说我爹年轻时也和我一样,我家祖上有两百多亩地,到他手上(中/里)一折腾就剩下一百多亩了(その上、私の父は若かりし頃も私と同じだった。我が家の先祖は二百ムーあまりの土地を

持っていたが、父の手に渡って無茶をされると百ムーほどになってしまった)

以上、おなかや口、手のように実在する身体部位名詞は、二次元の場所としての場所化には“～上”、三次元の場所としての場所化には24)のように“～里”、また、三次元の場所の中の任意の点と理解できれば“～中”で場所化できることがわかった。また、身体部位名詞が抽象的な意味に拡張して使われる場合には“～中”と“～里”、のいずれでも場所化することができ、意味は変わらない(手においては加えて“～上”でも場所化できる)が、多くの場合文体による制限がはたらき、どちらが使われるかが決まる。たとえば“手里”と“手中”、“心里”と“心中”、“眼里”と“眼中”などはどちらであっても言うことができるが、～里”は口語に、“～中”は書き言葉で多く用いられるとい使い分けがある³⁾が、“～里”あるいは“～中”の一方しか使われない場合もある。同じ日本語の「目」に相当する語であっても、中国語では書き言葉である“目”には“～中”を使って場所化し、“目中”とし“*目里”とはしないなどである⁴⁾。

3. 結び

本稿は名詞を場所化する方位詞“～中”について“～里”と比較しつつ考察した。第一章では“～里”と同じ意味を表すと説明される“～中”の基本ルールを探った。その結果“～中”は“～里”のもつ「三次元と意識される場所を表す」機能はもたず、「当該名詞内にある任意の点」を表すことを明らかにした。時間の場所化においても“～中”が表すものは“時点”(時間軸上の点)であり、“～里”が表すのは“时段”(一区切りのまとまった時間)であることを示した。これらに基づき、第二章ではいくつかのグループ分けされた名詞の場所化の際の両者の相違点について考察を進めた。しかし、文体による使用の制限、認知言語学からのアプローチなどまだ十分ではない点が多々ある。今後の課題としたい。

〈注〉

- 1) この時“櫃子中”には「すき間がないと感じる」というネイティブの指摘があるが、“～中”が空間ではなく「点」であると解釈することと矛盾しない。
- 2) 杉村 2001 によれば乗り物の大小や密閉度が知に一定の影響を与え、同じく自動車であっても、大きいものは“车上”、“车里”と表現される傾向が強くなるという。
- 3) ただし、小説などの描写では、同じ表現の重複を避けるために同一小説中に両者が使われることがあるという。
- 4) 邢福义 1996 13 頁

〈参考文献〉

杉村博文 2001 Q&A「隙間の中?」『中国語』'013月号 内山書店、56 頁。

保坂律子・郭雲輝 2000「名詞を場所化する方位詞“～上”と“～里”」『中国語学』247号、233-249 頁

吕叔湘 1980『现代汉语八百词』北京：商务印书馆

邢福义 1996「方位结构“X里”和“X中”」『世界汉语教学』第4期、4-15 頁

齐沪杨 1998『现代汉语空间问题研究』上海：学林出版社

〈例文引用文献〉

《活着》余华

《烦恼人生》池莉

《老舍之死》苏叔阳